

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)豊中市新千里南町2丁目ビル	階数	地上4F、地下1F
建設地	大阪府豊中市新千里南町	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第一種	平均居住人員	83 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2022年9月28日
敷地面積	2,315 m <sup>2</sup>	作成者	吉本 貴生
建築面積	678 m <sup>2</sup>	確認日	2022年9月28日
延床面積	2,535 m <sup>2</sup>	確認者	吉本 貴生



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.4

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
省エネルギー基準に適合する仕様とし、建物外皮の熱負荷抑制に配慮した。	特になし	
<b>Q1 室内環境</b> 居室床面積の1/8以上の開閉可能な窓を確保し、利用者の健康・快適性に配慮する。	<b>Q2 サービス性能</b> カテゴリ5E LAN配線(Cat5e)を居室内で設け、高度情報通信に対応可能とする。 防汚性の高い建材を使用する。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 建物周囲に緑地を複数箇所設け、地域に配慮すると共に、敷地内温熱環境の向上に配慮する。
<b>LR1 エネルギー</b> 一次エネルギー消費量を抑えるために、潜熱回収型給湯器、LED照明等を採用する。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 環境負荷の少ない発泡剤を採用する。	<b>LR3 敷地外環境</b> 広告照明を行わない。 LCCO <sub>2</sub> 排出量の抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0077

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)豊中市新千里南町2丁目プロジェクト							
	建設地	大阪府豊中市新千里南町							
	用途/区分	集合住宅 病院							
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B-					
①	CO2削減			4					
②	みどり・ヒート アイランド対策			2					
③	建物の断熱性			3					
④	エネルギー削減			5					
⑤	自然エネルギー直接利用			—					
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—

## エネルギー消費量の報告

対象外

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.3	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0	5
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	2.2	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

## その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		